

様式1・イ 再生資源利用計画書 - 建設資材搬入工事用 - - 「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版-

1. 工事概要

発注機関名		札幌市 北区		発注機関コード*1 011020		発注担当者チェック欄		法人番号 2430001033251												請負会社名 (株)札幌ロードメイク		請負会社コード*2 86000					記入年月日 R. 7年 3月 10日	
						担当者 宇野太智		建設業許可 または 解体工事業登録 北海道 大臣 知事 一般18229号														TEL 011-791-0001		Email		工事責任者 番場 幸正		
						TEL 011-771-4211		会社所在地 北海道札幌市北区篠路町拓北6番125																	調査票記入者 庄子 欣弥			

工 事 名	北区南地区道路区画線塗装工事										工事種別コード*3 B-5	請負金額 千 百 十 千 百 十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 2667 万円 (税込み)	左記金額のうち特定建設資材廃棄物の 再資源化等に要した費用 千 百 十 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 万円 (税込み)		再資源化等が完了した年月日 年 月 日		建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい	
工事施工場所	北海道 札幌市北 南区 府 県 町 村										住所コード*4 01102	工 期 令和 7 年 3 月 1 日から 令和 7 年 6 月 30 日まで						
工事概要等	区画線工										施工条件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等)							

建築面積
延床面積
構造
用途
階数
地上階
地下階
1.鉄骨鉄筋コンクリート造
2.鉄筋コンクリート造
3.鉄骨造
4.コンクリートブロック造
5.木造
6.その他
1.居住専用
2.居住産業併用
3.事務所
4.店舗
5.工場、作業所
6.倉庫
7.学校
8.病院診療所
9.その他

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材（新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況			（再生資材を利用した場合に記入してください）					再生資源
分 類	小分類 コード*5	規 格	主な利用用途 コード*6	利 用 量（A） 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量（B） 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*8	施工条件 内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	利用率 B/A×100	
特定建設資材	コンクリート			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	
	コンクリート 及び鉄から成 る建設資材			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	
	木 材			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	
	アスファルト ・コガト			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	
その他の建設資材	土 砂			締めm3		締めm3						%	
				締めm3		締めm3						%	
		合 計		締めm3		締めm3						%	
	砕 石			m3		m3						%	
				m3		m3						%	
		合 計		m3		m3						%	
	塩化ビニル管 ・継手			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	
	石膏ボード			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	
	その他の 建設資材			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	

コード*5

コンクリートについて

1.生コン（パージン骨材）
3.再生生コン（C o再生骨材M）
5.再生生コン（その他再生材）
7.無筋コンクリート二次製品（リユース品）
9.再生無筋コンクリート二次製品（その他再生材）

2.再生生コン（C o再生骨材H）
4.再生生コン（C o再生骨材L）
6.無筋コンクリート二次製品（パージン骨材）
8.再生無筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）
10.その他

コンクリート及び鉄から成る建設資材について

1.有筋コンクリート二次製品（パージン骨材）
3.再生有筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）

2.有筋コンクリート二次製品（リユース品）
4.再生有筋コンクリート二次製品（その他再生材）

5.その他

木材について

1.木材（ボード類を除く）
2.木質ボード

アスファルト・コンクリートについて

1.粗粒度アスコン
4.開粒度アスコン
7.加熱アスファルト安定処理路盤材

2.密粒度アスコン
5.改質アスコン
8.その他

3.細粒度アスコン
6.アスファルトモルタル

土砂について

1.第一種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
9.再生コンクリート砂

2.第二種建設発生土
6.浚渫土
10.山砂、山土などの新材（採取土、購入土）

3.第三種建設発生土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土

4.第四種建設発生土
8.建設汚泥処理土

砕石について

1.クラッシャーラン
5.ぐり石、割ぐり石、自然石

2.粒度調整砕石
6.その他

塩化ビニル管・継手について

1.硬質塩化ビニル管

2.その他

石膏ボードについて

1.石膏ボード
4.化粧石膏ボード

2.シーリング石膏ボード
5.石膏ラスボード

3.強化石膏ボード
6.その他

その他の建設資材について
（利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい）

コード*6

アスファルト・コンクリートについて

1.表層
3.上層路盤
5.その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）

2.基層
4.歩道
6.その他

土砂について

1.道路路体
4.構造物等の裏込材、埋戻し
7.ほ場整備（農地整備）
8.その他

2.路床
5.宅地造成
8.その他

3.河川築堤
6.水面埋立用

砕石について

1.舗装の下層路盤材
3.舗装の上層路盤材
4.その他

2.舗装の裏込材、基礎材
5.その他

塩化ビニル管・継手について

1.水道（配水）用
4.農業用
7.土質改良土

2.下水道用
5.設備用
8.建設汚泥処理土

3.ケブル用
6.その他

石膏ボードについて

1.壁
2.天井
3.その他

その他の建設資材について
（利用用途を具体的に記入して下さい）

コード*7

コンクリートについて

1.再生生コン（C o再生骨材H）
3.再生生コン（C o再生骨材L）
5.無筋コンクリート二次製品（リユース品）
7.再生無筋コンクリート二次製品（その他再生材）

2.再生生コン（C o再生骨材M）
4.再生生コン（その他再生材）
6.再生無筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）
8.その他

コンクリート及び鉄から成る建設資材について

1.有筋コンクリート二次製品（リユース品）
3.再生有筋コンクリート二次製品（その他再生材）

2.再生有筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）
4.その他

木材について

1.再生木材（ボード類を除く）
2.再生木質ボード

アスファルト・コンクリートについて

1.再生粗粒度アスコン
3.再生細粒度アスコン
5.再生改質アスコン
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材

2.再生密粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン
6.再生アスファルトモルタル
8.その他

土砂について

1.第一種建設発生土
4.第四種建設発生土
7.土質改良土

2.第二種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
8.建設汚泥処理土

3.第三種建設発生土
6.浚渫土
9.再生コンクリート砂

砕石について

1.再生クラッシャーラン
4.その他

2.再生粒度調整砕石
5.その他

塩化ビニル管・継手について

1.再生硬質塩化ビニル管

2.その他

その他の建設資材について
（利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい）

コード*8

再生資材の供給元について

1.現場内利用
2.他の工事現場（内陸）
3.他の工事現場（海面）
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*9

施工条件について

1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

様式2・□ 再生資源利用促進計画書 - 建設副産物搬出工事用 -

1. 工事概要 表面（様式1）に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出計画

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

建設副産物の種類	発生量 (掘削等) = + + 小数点第三位まで	現場内利用・減量					現場外搬出について											再生資源利用促進率	
		現場内利用			減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに○を付けて下さい	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離 千・百・十 km	搬出先の種類 コード*13	現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	再生資源利用促進量	----- (%)		
		用途コード*10	利用量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	減量法コード*11	減量化量 小数点第三位まで													
資材廃棄物 特定建設	コンクリート塊	トン	トン	トン			搬出先1	公共 民間					km		トン	トン			
	建設発生木材A (柱、ボードなど木部部材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン			搬出先2	公共 民間					km		トン	トン	トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン			搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%	
		トン	トン	トン			搬出先2	公共 民間					km		トン	トン	トン	%	
建設廃棄物	その他がき類	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%	
	建設発生木材B (立木、除根などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン			搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン		トン	搬出先1	公共 民間					km		トン	トン	トン	%	
		トン	トン	トン			搬出先2	公共 民間					km		トン	トン	トン	%	
	金属くず	0.600 トン					搬出先1	公共 民間	3	北海道札幌市白石区東米里20	01104	10	km	1	0.600 トン		0.600 トン	100.0 %	
		トン					搬出先2	公共 民間					km		トン			%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン			%	
		トン					搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.100 トン					搬出先1	公共 民間	3	北海道札幌市白石区川下641番	01104	12	km	5	0.100 トン		0.100 トン	100.0 %	
		トン					搬出先2	公共 民間					km		トン			%	
	廃石膏ボード	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%	
		トン					搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%	
	紙くず	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%	
		トン					搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%	
アバク (非燃性)	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%		
	トン					搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%		
その他の分別された廃棄物	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン			トン	%	
	トン					搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%		
混合した廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン			トン	%	
						搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%		
建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
							搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
							搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	第三種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
							搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	第四種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
							搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	浚渫土以外の泥土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
							搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
						搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
合計	地山m ³	地山m ³	地山m ³											地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		

コード*10
1.路盤材
3.埋戻し材
4.その他

コード*11
1.焼却
3.天日乾燥
4.その他

コード*12
施工条件について
1.指定利用等A
(発注時に搬出先を指定されたもの)
2.指定利用等B
(発注時には搬出先を指定されていないが、発注後に設計変更し搬出先が指定されたもの)
3.自由処分
(搬出先が指定されないもの)

コード*13
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.土質改良プラント(国登録ストックヤード)
5.土質改良プラント(国登録ストックヤード以外)
6.ストックヤード(工事予定地含む)
7.ストックヤード(工事予定地含む)
(再利用の目的がある)(国登録ストックヤード以外)
8.ストックヤード(工事予定地含む)
(再利用の目的がない)(国登録ストックヤード)
9.ストックヤード(工事予定地含む)
(再利用の目的がない)(国登録ストックヤード以外)
10.採取場・砂利採取跡地等復旧工事
11.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
12.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
13.土捨て場・残土処分場

8,9,12,13へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

注記)
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。